議 員 総 会 会 議 録

日時：平成25年8月27日（火）

場所：全員協議会室

午後3時00分 開 会

○中村宗雄議長

これより議員総会を開会いたしますが、この後委員会等も控えておりますので、手短かにいきたいと思いますので、よろしく申し上げます。今日の議員総会、急きょ開催したわけですが、今日議会運営委員会で亀崎幼稚園に係る今回の議案上程されている資料を議長名で資料請求したものをお渡しいたしました。これは、正副議長で協議をした結果、今回の議案審査に必要であろうというところで請求したわけなんですけど、いったい何故そんなのを請求したのというところが、議員の皆さんの中で共通認識が図られていないという現状がありましたので、これを補うために、今から何が問題と正副議長が捉えて、これを資料請求したかということの説明させていただきたいと思います。ですので、この先にどういう審査結果をもたらすか、議員個人の判断でやっていただければいいと思っておりますが、何が問題かといったところまでは、ご説明させていただきたいと思えます。まず時系列から話をさせていただきますと、平成24年、亀崎幼稚園というのが、3カ年実施計画にはじめて出てきました。これは、敷地の測量等で730万円というのをあげてきて、平成25年には認定こども園としてやるぞと、そして実施設計、土地調査があがってきました。そして全員協議会の中では、皆さんもご存知だと思いますけど、今の亀崎幼稚園の敷地の中に、2階建ての園舎を建てるという説明が全員協議会でされて、皆さんはこれが建つもんだと思って、ずっと3月の予算審査もやってきたと思えます。今回お渡しした資料、資料請求した資料というのは、主に土地対策会議の議事録等が付いております。というのは、どういうことかと言いますと、今回9月議会の補正予算であがっているのは、隣接する土地を買うぞという補正があがっています。この土地って、いったいつ買うことに決めたかというところが、今日お渡しした土地対策会議の資料になります。これは、実は1月8日に土地対策会議で購入を決定しております。そして、3カ年の中で総額の予算が変わらない程度にやればよいということも、明確に記されています。そして、さらに、でも私たちはずっとこの土地で2階建てで建てると思って、審議しているんですね。これは先回、去年の文教厚生委員会の委員長もご存知だと思いますが、文教厚生委員会の中でも本会議場の中でもこのような計画が、変更になったという説明は受けてないと思えます。これは議事録でも確認しましたが、いっさい受けておりません。そして、更にこれは4月18日に設計委託の入札が行われました。黒川設計事務所が4月18日に落札しているわけなんですけど、その仕様書を確認させていただきましたら、実はもう購入していない土地の大きさで、平屋の1,750平米で作るという仕様で発注されています。ということは、議会の皆さんが思っているのと違う計画が、すでに裏で進んでいたというふうに認識していいのかなと。これを、何が問題かと正副議長が捉えたかと申しますと、非常に不信感が高まる状況かなということ。簡単に

言いますと、新庁舎建設事業の中で、債務負担行為とか、ああいうことのある中で、言葉が足りなかったよね、説明不足だったよね。これからはこういうことはやめて行こうねと言っている矢先に、違う事業を説明しておいて、裏では違う事業を進めていたという、これは亀崎幼稚園を平屋にすることに対して、問題提起しているわけじゃなくて、この議案の進め方、審議の進め方というのが非常に問題じゃないのかなということで、皆さんにそれを実証する資料をお配りしたわけです。これを違った解釈をいたしますと、これまで私たちがいろんなところで議案を審議して、審査して可決した後でどんどんそれと違う事業を行ってもいいんだという話になっちゃいますよね。そういうところがいったいどういうふうに捉えるのか、今回のことは、何でこうなったのか、これからどういうルール作りをするんだということが、今回9月補正のポイントになると思いますので、そういう観点でいろいろと党派等でご協議いただければと思います。今私が簡単に説明したところで、何かご質問はございませんか。

○松本如美議員

確認だけ。4月18日の業者選定の入札は、その日に入札がされたという日にちでいいよね。それ以前に、設計図が出ていて、それについて入札されているんだから、設計図が平屋で出たという時期はわかるんでしょうか。

○中村宗雄議長

入札結果が4月18日の日付で出ています。これが必要だったらまたお渡ししますが、こういう設計を行うにあたりまして、いったいどんな設計をしたらいいか設計事務所はわからないもんですから、業務委託の仕様書があるんですよね。この仕様書の中を見ますと、どんな建物を建てるんだというところには、一階建ての1,750平米ということが、明確にうたってあります。そして、場所はどこかというところには、購入されていない土地も用地として記入されています。極めつけは、先日、真政会と創政会の勉強会で示された平屋の案というのは、この設計仕様書の中に土地まで入れて平屋になっているんです。これは常識で考えても、予算が3月26日あたりに議決されています。4月入って、すぐこれが仕様書として告示されたというんですか、入札業者に示されていますので、ほぼ同時期に同じことが走ってんだなという事実関係になると思います。必要ならば、これも資料をお渡しいたします。その他何かあればお受けいたします。

○中川健一議員

これは現時点では、当局はどういうふうに言い訳を言っているんでしょうか。もうお詫びして、なんとか議会で説明させてほしいと言っているのか、まったくその無視して進めているのか、現状はどういう状況になっているんでしょうか。

○中村宗雄議長

現実にこれに対して、非常に、議長名で資料請求したり、副議長がその辺りの資料を集めただけで、私たちは何のアクションもしておりませんし、逆にこれ、今回議案として上程されてくるわけですので、特に議会としてアクションを起こすべきものではないのかなと。逆にこれは、委員会での審査や本会議での質疑等でどうするのがいいのか、皆さんで協議すればいいと思いますので、特に今のところ、何もアプローチしてません。

○中川健一議員

普通は、変われば変わったんで、ちょっとこういうふうで修正を、今後はやっていき

ますので、そういうふうでお願いしますということを、やっぱり当局側に言わないといけないんじゃないかなと思うんですよね。それはなぜかというと、当然、予算時には別の説明がしてあって、状況が変わりましたので、そういうのは向こうから全くないということですか。

○中村宗雄議長

去年の文教厚生委員会のかたに聞けばわかると思いますが、例えば委員会の中で、実は用地交渉をしているんだと。地域住民の要望が平屋が多いから、設計変更もする場合があるんだなんていう事前の説明を受けていけば、別にこれはこれでしょうがない。しようがないと言っては失礼ですけども、致し方ないのかなと思いますが、去年の文教厚生委員会の委員長、そういう説明はないですよ。

○小出義一議員

ありません。

○中村宗雄議長

例えば委員長にだけ耳打ちされていたりとか、それこそ一切なかったと思うんです。そこに議事課の課長が、当時の学校教育課長ですので、非常にやりにくいんですけども、問題と思っている次元が違うと思います。決して悪気があったわけじゃないと思いますが、現実議会にとってみれば、我々はこれだと思って一生懸命審議しているわけですが、実際動いていたのは、これなんです。そういう現実があったというそれだけの事実で、説明であります。補足は渡辺副議長からお願いします。

○渡辺昭司副議長

一点だけ補足で、3月の予算の時に実施設計の予算が2,186万5千円というのが示されているんですが、地質調査の委託料と一緒に。その時の予算にあげられている計画は、2階建てであげています。ですので、2階建てのままの計画で予算と事業を3月の予算のときに上程しているという状況になっています、そのことで、議会に審査をしてくださいということで、議案上程をしています。

【発言する者あり】

○中村宗雄議長

このあと委員会等もありますので、議員総会は閉会したいと思います。各派の代表者の方は、3分間でけっこうですので、集まっていたきたいと思います。これをもちまして議員総会を閉会します。

午後3時21分 閉 会